

保存版

米子市 防災マップ

Disaster Prevention Map

わが家の防災メモ

わが家の避難場所

家族が離ればなれに
なったときの連絡先

家族・
親戚・
知人等
の連絡先

名 前

緊急時の連絡先

生年月日/血液型

防災マップについて

このマップは、地震、風水害などの災害が発生したときに避難する場所や防災関係施設などを掲載しています。

万一来に備え、日頃からこのマップを使用して、家族で最寄りの避難所を確認の上、いざというときにお役立てください。



平成12年10月6日・鳥取県西部地震を忘れない



避難時の心得



- 気象情報などに十分に注意し、危険を感じたら、避難勧告や避難指示が出る前でも自主的に避難しましょう。
- 危険が迫ったときには、防災無線、広報車、消防団で避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに最寄の避難施設に避難してください。
- 避難する時の荷物は、貴重品、必要な食料、衣類など必要最小限(非常持出品は、男性で15kg、女性で10kgを目安に)にして、徒歩で避難しましょう。
- 高齢者、子ども、障がいのある方などは、早めの避難が必要です。避難する時には、みんなで子どもの手をしっかり握るなどの避難支援や避難に協力をしましょう。
- 万一、避難し遅れたら、グループで行動しましょう。

防災関係機関一覧表

施設名	所在地	電話番号
米子市役所	加茂町1丁目1	22-7111
米子市役所 淀江支所	淀江町西原1129-1	56-3112
米子市水道局	車尾南2丁目8-1	32-6111
西部消防局	両三柳5452	35-1951
米子消防署	富士見町1丁目103-1	39-0251
米子警察署	上福原1266-4	33-0110
中国電力 米子営業所	加茂町2丁目51	50-1542
米子ガス	旗ヶ崎2200	23-0111

救急病院一覧表

施設名	所在地	電話番号
鳥取大学 医学部 附属病院	西町36-1	34-8238
米子医療 センター	車尾1293-1	33-7111
山陰労災病院	皆生新田1丁目8-22	33-8181
高島病院	西町6	32-7711
博愛病院	両三柳1880	29-1100

警察への
事件・事故は **110番**
局番なし(無料)

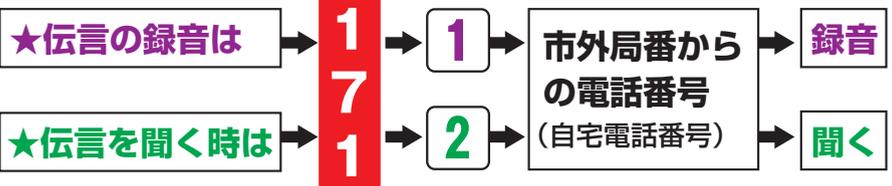
火事・救助・
救急車は **119番**
局番なし(無料)

海の
事件・事故は **118番**
局番なし(無料)

災害用 伝言ダイヤル **171番**

局番なく伝言の録音、再生時の通話料のみ必要です。

地震や豪雨などによる災害が発生し、電話がつながりにくい状況になった場合、安否情報の伝言を録音できるサービスです。



※サービスの開始については、被災状況に応じNTTが決定し、テレビ、ラジオなどで発表されます。

米子市安心・安全情報ネットワーク



パソコン
<http://anshin.yonago-city.jp/Community/>



携帯電話
<http://anshin.yonago-city.jp/Community/mobile/>

インターネット掲示板に、各種情報(防災無線放送内容、防災情報など)を掲示し、防災無線放送内容など重要な情報は、希望された登録者だけにメール送信しています。

※注「Community」のCだけ大文字

防災関連情報

- 米子市ホームページ
- 鳥取県防災情報
- 鳥取県地方気象台

<http://www.yonago-city.jp/>
<http://www.pref.tottori.lg.jp/bosaihp/>
<http://www.osaka-jma.go.jp/tottori/>

発行元	米子市
電話番号	(0859)22-7111
FAX番号	(0859)23-5390

平成19年3月作成

災害に備えて

★いざという時に備えて、日ごろから家庭で連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。

非常持出品の準備 ライフライン(水道・電気・ガス)の途絶に備えて

◎いざというときにすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常食・飲料水

- ・長期間保存のきく缶詰
- ・乳幼児の粉ミルク、おやつ
- ・飲み水などの飲用水など



情報収集

- ・ラジオ・携帯電話
- ・予備電池



照明器具

- ・懐中電灯
(ろうそくは火災防止の点から、なるべく使用しない)



生活用品など

- ・貴重品(現金など)
- ・下着など衣類
- ・メモ帳、ペンなど



事前に家族会議を 備えあれば、憂いなし。

◎災害時にどうするかを、事前に家族で話をしましょう。



家族間の連絡方法の確認

- ・玄関の張り紙などを使い、安否情報を伝えるなどの連絡方法の確認をしましょう。

避難場所の確認

- ・自宅などからの避難場所を事前に確認しましょう。

自助

災害から自分、家族を守るためには、まず「自分達のことは自分達で守る」という意識が必要です！

★家の中や外の安全対策

- ・家の中～家具の転倒防止など

家の周囲をチェック



★防災知識の習得

- ・訓練や講習会への参加



★防災情報の情報収集

- ・テレビ、ラジオなど
- ・防災行政無線、広報車
- ・インターネット(防災情報関連サイト) **警報注意!**



共助

「自分達の地域は自分達で守る」という意識のもと、地域ぐるみで防災対策を考えましょう！

★自主防災組織を結成しましょう！

【自主防災組織とは?】

地域住民どうしが自主的に防災活動を行う組織です。日ごろから災害に備えて組織づくりを行い、役割分担を決め、防災訓練を実施しておくことが重要です。米子市では新規結成や活動などについて説明、相談等を行っています。



★災害時要援護者(高齢者、障がい者など)への支援と協力



風水害に備えて

台風や大雨などの風水害は、近年の気象情報などの進歩により、事前の準備次第で被害を軽減することができます。日頃の気象情報に注意しましょう。



台風対策

【屋内】

雨戸や窓を補強し、不要な外出は控える！

【路上】

看板が飛んだり、街路樹が倒れてくることに注意！

【海岸】

高波や高潮の危機があるため、海辺に近づかない！



大雨対策

【屋内】

床下・床上浸水被害に備え、2階へ避難する。また、がけ地に近い部屋には入らない！

【川べりなど】

急な増水の危険があるため、川などには近づかない！



土砂災害に備えて

土砂災害(土石流、がけ崩れ、地すべりなど)は、地震や台風などの豪雨で地盤がゆるんで発生します。次のような場合には、**要注意！！**

①1時間に20mmまたは降り始めてから100mm以上になったら**土砂災害への注意が必要！**



②山鳴り、木立の裂ける音がしたり、川が濁ったり、雨が降り続けているのに川の水位が下がり始めたら**土石流**に注意！



③がけから小石が落ちてきたり、がけに裂け目ができたり、水が湧いてきたら**がけ崩れ**に注意！



④地面にひび割れや地面の一部が陥没や隆起をしたら**地すべり**に注意！



地震に備えて

平成12年10月の鳥取県西部地震を教訓に、今後同じ規模の地震が来ても的確に行動できるように、備えておきましょう。

地震時の10の行動と心得

①まず我が身の安全を確保



⑥津波、がけ崩れに注意



②速やかに火の始末



⑦皆で応急救護に協力



③非常出口を確保



⑧自動車は「左」に寄せて停車
走行中の自動車は、エンジンを止めて、カーラジオで災害情報を聞く。



④あわてて外へ飛び出さない



⑨避難は徒歩で、持物は最小限で



⑤狭い路地、塀ぎわ、がけ、川べりには近づかない



⑩正しい情報をつかもう
デマなどにまどわされないために



原子力災害に備えて

原子力災害は、地震、風水害、火災などと違い、五感に感じることができないため、被ばくの程度や災害にどう対処してよいか、自分で判断できません。

ただし、万が一島根原子力発電所で災害が発生しても、ただちに国、県、関係市町村、関係機関が連携して防災対策を行います。また、安全対策をとるまでに十分な時間があるので、あわてず落ち着いて行動することが大切です。

放射線について

私たちは、日常生活の中でどこにいても宇宙や大地、そして摂取された物を通して放射線を受けており、日本人は年平均として2.4ミリシーベルトの放射線を受けています！

災害時の留意する点

①防災行政無線、広報車の情報に注意しましょう！



②テレビ、ラジオなどで正しい情報を聞き、デマにまどわされないようにしましょう！



③必要に応じて、米子市から屋内退避や避難等の指示が出た場合、誘導員責任者の指示に従って行動しましょう。

